



ベッブトーク&つばさ秋のスポーツ大会 集合写真

つばさHD 社内報

flap 秋号

vol.17 2022

Contents

特集①	多摩フードサプライの新体制紹介	2
特集②	アクティブサービス紹介	2
Report	内定式・本採用伝達式・0期生の今	4
特集	2期生プロジェクト報告	5
Report		6
連載	広報吉原が行く!	7
Topics	地域情報	8

グループ使命感 全国、そして世界から視察に訪れる高度幸福化社会の一隅照モデルを創造する!
～起点は日本一のABCの実践～

Group Policy 仲間が先、自分は後。与えるものが与えられる。信頼が先、指名は後。期待に応えると選ばれる。

Group Principles of Conduct “A”「当たり前のこと」 “B”「馬鹿みたいに」 “C”「ちゃんとやりきる！」

地域情報

元気な地域メディアを紹介「エフエムたちかわ」

開局 15 年をむかえる FM 周波数 84.4MHz の「エフエムたちかわ」。放送は、多摩モノレール「泉体育館」そばの立飛ビルの本社と、立川のおしゃれスポット「GREEN SPRINGS」内のスタジオで行っています。昨年 5 月に就任した代表取締役の鵜飼さんに、ラジオと街の魅力についてお聞きしました。

エフエムラジオ立川株式会社
代表取締役 鵜飼一嘉さん

地域ラジオとしては充実した機材を置いて
365日休まず番組を流しています。



鵜飼さんの就任は、ラジオパーソナリティから経営者への突然の転身でした。「元々、ちょっと変わった経歴」と朗らかに笑う鵜飼さんは、元は企業の総務人事経理や経営企画を任されるサラリーマン。当時テレビやラジオへの就職は一般企業より狭き門で、高校時代自主ラジオ番組を作るほどハマっていた放送業界への夢は一旦断念。40歳になって一念発起し、プロを目指して会社を退職。人生をかけたチャレンジが実り、以降ラジオやテレビで活躍しています。



GREEN SPRINGS のサテライトスタジオでは
毎日生放送を届けている

「お世話になった放送業界への恩返し」と、67歳にしてエフエムたちかわの代表に就任してからは、経営手腕を活かしてCM本数を大幅に増やしました。地域メディアといっても今はアプリを使って全国・全世界の人が聴くことができるため、地元以外の聴取者も意識して放送します。一方でディープな立川ネタも届けることで地域の匂いを感じる番組作りをしています。

立川はららばーと立川立飛に始まり、アリーナ立川立飛、IKEA、そして GREEN SPRINGS と回遊性を高め、魅力的な街として注目されています。商圏人口が拡大し、意識を持ったアッパーゾーン層の利用も増加。成熟した都心とは違った魅力が、立川にはあるのでしょう。立川の成長と共に地域や企業から愛されるエフエムたちかわの活躍が、今後も期待されます。

エフエムたちかわのオススメ番組3選

1 ブレッセ～立川多摩地域☆情報局

月～金 12:00-14:00

多摩地域の情報を音楽と共に
GREEN SPRINGS から生放送で送る
老舗番組。

2 SOUND CRUISE JOURNEY

木 20:00-20:30

音旅演出家 大迫淳英が送る音の旅
番組スポンサーは株式会社 JTB

3 鵜飼社長の Brand New Day

月～金 10:00-12:00

放送業界 25 年のプロの話を堪能できる
地域情報満載のモーニングショウ

エフエムたちかわに出演してきました!

パーソナリティが日替わりでノンジャンルの話題と音楽を届ける「パークサイド・スクエア」に、アクティブ感動引越センターが出演させていただきました。番組では会社や働く人々の魅力を発信。「お客様とは一期一会の気持ちで、私たちにできる最大限のサポートをさせていただきます」と、引越しと共に新しい生活サポートサービスへの意気込みを語りました。



社内報に関するお問い合わせはこちらまで!

shanaidou@tsubasa-holdings.co.jp

2022年11月1日発行 発行部数500部 制作・発行/つばさホールディングス株式会社
〒190-0012 東京都立川市曙町 2-38-5 立川ビジネスセンタービル 11F TEL042-512-5161

企業サイト



flap Web



多摩フードサプライの新体制紹介



——二〇二二年七月一日付で、多摩フードサプライの代表取締役社長に就任した菅野友則さんに、つばさホールディングス代表取締役の猪股さんとの対談形式でお話しをお聞きしました。就任後、ご自身や周りの環境に変化はあったのでしょうか。

猪股 未来の経営者を育てる「ヒト☆ピカ経営・ブレジデントスクール」(以下、ヒトピカ)に、菅野さんは一期生として参加していましたね。だから社長就任の辞令は予想していたのでは？

菅野 全員がなれるわけではないと思うのですが、私はヒトピカに申し込んだ時に、社長になる覚悟を決めていました。「人生経営の社長」というスタンスで半年間学んだ仲間も、それぞれの拠点で核となる仕事をしています。休日返上でのお勉強は大変でしたが、かけがえのない時間でした。

猪股 ヒトピカ卒業後三年で役員や代表者になる道筋があり、菅野さんはその通りに歩いてきています。僕が何かを託すというよりは、菅野さんに権限をもってもらい意思決定をして、事業をとりまわしていくことに期待しています。

——多摩フードサプライに転籍した当時、会社の課題は何でしたか？

菅野 深くお付き合いしていた中間業者から脱退し、

猪股 三十九歳で社長になって一番変わったのは、自分の意識です。一つ一つの行動を今まで以上に気をつけるようになりました。商談先で名刺を差し出すと「お若いですね、おいくつですか？」と問われることも多くなりました。取締役の時まではなかったことです。外部から信頼感を持っていただけるように自分を律しよう、という心持ちです。

菅野 私は創業した会社を二十七歳の時に法人化しました。菅野さんはつばさホールディングスのグループ内で、精密機器輸送から食品の保管や発送代行業へと、業界をまたいで活躍していますから、実力と運を携えて、さらに活躍できる環境になりましたね。

菅野 ありがとうございます。精密機器輸送会社で

株式会社多摩フードサプライ
代表取締役社長
菅野 友則 (かんの ともりの) 氏

つばさホールディングス株式会社
代表取締役
猪股 浩行 (いのまた ひろゆき) 氏



荷主様との直接交渉をどうするか、という時期の転籍でした。依存していた先がなくなり、ノウハウの抛り所も見つけられずにいる状況だったと思います。重責をゆだねていた工場長の体調不良を受け、全員が「自分たちでやらなければいけない」と思った瞬間がありました。

猪股 発注システムも変えることになり、大変な時期でしたね。

菅野 トップダウンでなく内部から変えたい、という委員会活動も始めました。社員発信で始まる取り組みがそれまでは三ヶ月しか続かなかつたのが、三ヶ月と一日、半年、一年と社員同士が意見交換をして続けられる環境になってきました。

猪股 一人ひとりが何を指すか、会社の基本方針は何か。日々の当たり前のことをやり続けることがどれだけ大事か。それを考えられるようになること、会社は輝きます。

菅野 お陰様で新規法人との取引が増えてきています。ご紹介いただくケースも少なくなき、期待に信頼でお返しができるよう努めます。つばさホールディングスからも支援をいただき、現場は活性化しています。

インタビューのつづきは、つばさホールディングスのオウンドメディア「flap Web」でご覧ください。私たちの仕事や考え方を通して、多摩地域ではたらくこと、くらすことの「おもしろさ」を伝えています。

flap Web
未来のつばさを広げよう

アクティブ感動引越センターは、引越だけじゃない！

生活サポートサービスの開始

屋号の「感動」の名に恥じないよう、お客様に寄り添ってきた私たちのサービス力を、引越し以外でもご利用いただけるようになりました。



3つのサービスを軸に、お客様の要望に応じていきます！

- ①引越し会社だから、安心。
家具の移動や耐震防止などの引越しオプションサービスを引越し以外でも利用することができます。
- ②日常のお悩み、お手伝いします。
掃除や子育てサポートなど、日常のお悩みをはじめとした様々な悩みをお手伝いするサービスです。
- ③ご両親に寄り添い、見守ります。
定期訪問や外出サポートなど、心配事が増えはじめた際に弊社が変わって見守るサービスです。

サービス開発に地域企業と若手社員が活躍



サービス開発は、地域企業とつばさホールディングス、アクティブ感動引越センター3社合同で行われた。未来のリーダー人財を担う若手社員を中心に、プロフェッショナルの助言を加え具体化していった。



SWOT分析を通して、リピート率の高いアクティブ感動引越センターのサービス力を、引越し以外のシーンでも提供することで市場が拡大すると予測。中高年層を主なターゲットに商圏でのテストマーケティングを実施した。

ペップトーク&つばさ秋のスポーツ大会

開催レポート!

ご協力ありがとうございました!

10月17日、立川市の泉体育館で開催された大会はグループ8社から合計26名が集まり、普段顔を合わせない拠点同士の交流の場となりました。スポーツ部門では会社混合でAからDチームの4つのチームに分かれてトーナメント方式の対戦。予想以上に全身を使う競技の数々で、後日筋肉痛になる参加者も続出したようです。ペップ部門では、相手の本領発揮を導き仲間のやる気アップにつなげる言葉を各社ごとに披露し、会場から温かい拍手が贈られました。

また開催前の募集で集まったペップは1417にのぼりました。各社のご協力と2期生のがんばりにより、4月から始まった2期生の新卒プロジェクトは無事に終了しました。大会を終えた参加者からは「すごく楽しかった」「毎年やってほしい」という声を多くいただきました。

モルック



〇×クイズ



ゴールペップ



だるまさんがころんだ

募集したペップトークを掛け声にしました



地味にキツイ、

猪股代表も参戦し体育館にはフリスビーが飛び交いました

ドッジビー



ペップと競技の結果報告



優勝したDチームの皆さん

スポーツ部門 結果報告

優勝 Dチーム

川端 (THQ)、中田 (THQ)、新納 (ロジ)、武田 (多摩車両)、稲積 (aile)、森 (アクティブ)

準優勝 Cチーム

吉原 (THQ)、小谷野 (ロジ)、川上 (多摩車両)、草川 (Backflow)、長島 (aile)、宮崎 (FU)、井上 (アクティブ)

ペップ部門 結果報告

- 最優秀賞 エールロジスティクス
- 優秀賞 エイチディーエス
- アイデア賞 つばさホールディングス

たくましい姿をどんどん見せてください

まかせてください!

10月3日、立川ビジネスセンタービルにて、来年度入社3期生3名への内定証書の授与、今年4月に入社した2期生7名への本採用証書の授与が行われました。式は全員起立して「グループ使命感」「グループ理念」の唱和から始まりました。

内定式では、今年も1期生の潮田さん(つばさホールディングス社風人財開発グループ)が司会を務め、猪股代表より内定証書の授与が行われました。

続いて行われた本採用伝達式では、激励の言葉が添えられた本採用証書が猪股代表より手渡されました。仮配属先で初めての社会人経験をした2期生は「人生で一番短く、一番充実した半年でした」「今後も自分自身でやってみること、選択することを大切にがんばっていきたい」「来年は3期生に大きな背中を見せられるように、成長していきたい」と頼もしい明言をしてくれました。

祝辞では、平田取締役から「この6カ月間の2期生の成長を肌で感じています。ビジネスマンらしい会話ができるようになりましたね。3期生の皆さん、卒業までの6ヶ月間は知識や人間力を高める良い機会なので、ぜひ有益に過ごしてください。つばさホールディングスを選んでいただきありがとうございます。」とお祝いの言葉が述べられ、猪股代表からは「新しい時代で変化する経済状況の中で、お客様や仲間喜んでもらえる挑戦をし続けるのがつばさホールディングスです。400名ほどの従業員と共にこの会社と一緒に作っていく気概で、挑戦をしてください。あなた達の若い力で、常に太陽のように明るく社会を照らしてください」と激励が贈られました。



3期生3名と猪股代表(1名はリモート参加)



本配属先での活躍が期待される2期生7名



祝辞を述べる平田取締役



本採用証書授与の後、一人ひとりが決意をのべた

はじめての新卒入社0期生は今

アクティブ感動引越センター キャストリーダー

森一平(もりいつへい)



入社した時、今の自分の姿は想像する余裕もなく、社会人に慣れることで必死でした。自分は何をやるにも目標がないとがんばれないので、一年ごとにテーマを決めて働き始めました。一年目は「仕事を覚えること」、二年目は「現場責任者になること」でした。

そして三年目の今年は「指名を増やすこと」を目標にしています。先輩後輩関係なく言い合える社風の中でチーム力は高まります。個人では、引越後にゲストに送るプレリユードカードを欠かさず書くなど、日々の積み重ねで上半期は指名数二位をいただくことができました。一位は目標としている先輩なので、自分の誇りにつながりました。ゲストに気持ちよくお引越しをしていただいたのだと嬉しく思いますし、自分の成長も感じています。

引越しは体力もメンタルも大変な仕事のひとつだと思いますが、僕もここまで続けられているのは、ひとえに仲間のおかげです。

新卒社員みんなに伝えたいのは、思っていることは明言しようということ。人との衝突を避けて自分を我慢するのはよくない。つばさホールディングスは向き合ってくれる組織なので、自分の意見をしっかりとって、社会人として今後も成長してほしいと思います。内定、そして本採用おめでとうございます!

株式会社カーライフサービス多摩車両 カスタマーサービス販売課係長

川上健介(かわかみけんすけ)



まずは皆さん、おめでとうございます。未来のリーダー人財として集められた我々の役割が何かを、これからよく考えていく必要がありますね。

ホールディングス配属の方は事業会社との関係性を深めて、ホールディングスが何のためにあるのか思考をめぐらせることが良いと思います。事業会社配属の方は、現場で働く人の気持ちをより理解できる距離にいますので、現場の方々とコミュニケーションをとってほしいですね。現場とホールディングスが健全な関係を築き、互いに「ありがとう」と言える組織を皆で作っていきましょう。

僕は新卒採用の0期生としてカーライフサービス多摩車両に出向し、入社四ヶ月後から保険会社に出向しました。保険業界は三ヶ月ごとの売上目標を達成しないとクビになる厳しい業界です。自分で選んだ道で二年間過ごしたことは、自信につながっています。今はカーライフサービス多摩車両の保険係として、仲間と切磋琢磨する日々です。

保険業界はおもしろいです。提案してお客様にパチッとはまった時はヤッターという気持ちになるし、「ありがとう」「川上さんを信頼しているよ」と言ってもらえると心から嬉しい。

お客様の話を聞いて提案できる力、今の保険が守れる保険になっているかを、判断できる力を備えて「保険まわりの先生」になりたい。お客様をよりよく知れることに、やりがいを感じています。



？ 国土省とは

国土交通省の略称。2001年4月の省庁再編で、当時の4省庁（運輸省・建設省・北海道開発庁・国土庁）が統合されてできました。本省のほか、全国に運輸局や整備局などの地方組織があり、全体で約37,000人の職員が働いています。中でも自動車局貨物課では、長年の課題であるトラックドライバー不足や労働環境の改善、取引の適正化など物流に関する取り組みを推進しています。

？ 国土交通省自動車局貨物課の主な仕事内容は

一例として令和6年度からトラックドライバーに時間外労働の上限規制が適用されることから、標準的な運賃の浸透や荷主等への働きかけの実施を通して労働条件改善や取引環境の適正化を図っています。

？ 「ホワイト物流」推進運動とは

深刻化が続くトラックドライバー不足に対応し、必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、以下に取り組む運動です。

「ホワイト物流」推進運動の目的

トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化

女性や60代以上の運転車等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現



「ホワイト物流」推進運動への参加により期待できる効果

生産性の向上

二酸化炭素排出量の削減

事業活動に必要な物流を安定的に確保

社会的責任の遂行

など

「ホワイト物流」推進運動の公式サイトはこちら



桜田門が近くにある

隣接する警視庁の目の前には、皇居にかかる桜田門があります。1890年、江戸幕府大老井伊直弼が水戸藩を中心とした浪士により暗殺された「桜田門外の変」の史跡です。

プチ情報1

職員で用達のそば処「日豊庵」

地下には、職員に「したそば」と親しまれている昭和31年の創業のそば処「日豊庵」があります。安さと提供スピード、毎日食べても飽きないそば作りにこだわっています。

プチ情報2



おまけ メタバース空間を体験しました！

「メタバース」を知っていますか？ インターネット上に作られた3次元の仮想空間で提供されるサービスの総称です。バーチャル空間でのゲームだけでなく、最近は会議や展示会開催など、ビジネス活用が進んでいます。つばさホールディングス広報でも活用方法の検証をするため、まず広報3人でメタバース空間にアバターを作り、仮想空間を冒険してみました！企業の展示会ではコンシェルジュによる案内や、他のアバターとの交流を体験しました。

会社の写真館を作るとか、グループ使命感に沿ってバーチャルベンチマークを企画するなどを試作しています。今後もメタバースの可能性を探っていきます。



企業PRの試作

広報MTG体験

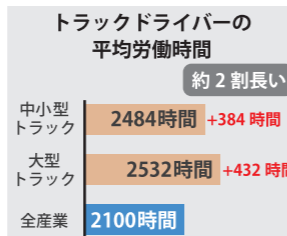
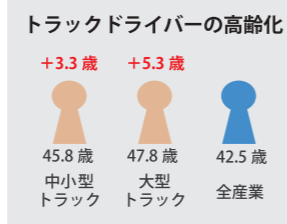
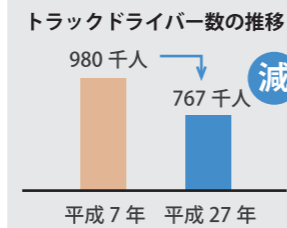
入社2年目
広報吉原が行く！
事業会社の頼れる
支援部隊を目指して！
2
今号では東京都・霞が関にある国土交通省自動車局貨物課に訪問した様子をご紹介します。物流に関する取り組みをお聞きしました！

記事の拡大版はこちら！

flap Web



数字から見る物流業界の課題



参考：「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト (https://white-logistics-movement.jp/)

Report

第6期ヒト☆ピカ経営プレジデントスクール卒業プレゼン大会開催

一般社団法人高度幸福化社会推進協議会の主催で毎年開校する「ヒト☆ピカ経営・プレジデントスクール」は、人が輝く経営学を学び、何かでNO.1に挑戦する社長やリーダー及び人が輝く企業を設立し、社長を目指す人のためのビジネススクールです。2017年に開校後、第0期生から始まったヒト☆ピカ生は6期目になりました。今期の参加は4名。感動経営コンサルタントの臥龍こと角田謙之氏に3月から半年間に渡り経営学を学び、日々の一学一践の中で切磋琢磨してきました。

8月7日の卒業プレゼン大会は、立川市の会場でのリアル参加とオンライン参加のハイブリッド開催。4名の卒業生が登壇しました。プレゼンは人生経営の社長として自らの挑戦を宣言する「マイプロジェクトX」と共に、人生に影響を与える書籍紹介や、偉人紹介も行われました。さらに6か月後には「マイプロジェクトX」の経過プレゼンが予定されています。



右：猪股代表 左：臥龍先生
中央右から

山崎 祐 (つばさロジスティクス)
村上 英 (つばさロジスティクス)
鎌田恵美 (カーライフサービス多摩車両)
高野日和 (カーライフサービス多摩車両)

■卒業プレゼンを終えた6期生の声

鎌田恵美さん (カーライフサービス多摩車両)

様々な経験を色濃く経験することができ、まさに「感動体験」でした。挑戦し続ける多摩車両で、インサイドアウト思考の物の見方でマイプロジェクトに取り組んでまいります。

村上英さん (つばさロジスティクス)

他では絶対経験できない大きな学びを得ることができました。人としての大切なことの多くを教えていただきました。スクールが終わりヒトピカ・ロスです。このまま学びは続けていきます。

高野日和さん (カーライフサービス多摩車両)

決意表明をしたことで自分の心境・行動が大きく変化していると感じています。半年後、4年後に良い報告ができるよう積極的に取り組み、人がついてくるリーダーを目指して、日々進化していきます！

山崎祐さん (つばさロジスティクス)

共感できる仲間が周りにたくさんいることに気が付き、心強く感じました。学んできたことを少しずつ実践し、習慣として定着させることに取り組み、周りに影響を与えられる存在になっていきたいと思っています。

Report

アクティブ感動引越センターの地域PR活動



新しくスタートした生活サポートサービス(2ページで紹介!)は、地域PRにも力を入れています。8月の祝日「山の日」を挟んだ3日間に開催した、親子向けイベントでは88組、139名の親子が参加しました。会場はJR立川駅直結のグランデュオ立川。輪投げと射的、ヨーヨー体験ができる屋台エリア、段ボールロボットやトラックが作れる工作エリアなど、引越し用ダンボールを活用したイベントでお客様にアンケートを実施。今後のサービス構築に活かしていきます。

10月には地域ラジオ「エフエムたちかわ」に出演し、地域での認知度向上をはかっています。(ラジオ出演は8ページでも紹介)



イベントでは、オリジナルラベルの除菌水をプレゼント。イルカちゃんマークが好評でした！



各社のオリジナルラベル印刷に対応します
多摩フードサプライの除菌水
ぜひお問い合わせください！